初春

今年は未年

平成三年は未年です。羊は、「おとなしい」「柔順」「群れになる」などのイメージがありますが、何よりもわたしたちが実感できるのは、ウールのセーターや皮製品の肌ざわりと温かさです。

羊は紀元前六千年ごろ、家畜化されたといわれています。馬が家畜化されたのが、紀元前三千～四千年ごろですから、羊と人間の付き合いは、かなり長いことになります。

日本には、羊にまつわる諺があまり多くありません。

すぐに思いつくところでは、「羊の皮を着た狼」「羊頭狗肉」くらいのものです。

では、なぜ羊に関する諺が少ないのでしょう。西暦五九九年、推古天皇の時代に、百済から二頭の羊が贈られたと日本書紀に記されています。しかし、羊は乾燥した風土が好きなので、日本の気候に合わなかったのでしょう。あまり繁殖しなかったようです。そのため、欧米のように諺が多くないのだろうといわれています。

村の未年生まれの人
674人

（平成２年10月１日現在）

年　号	人数	総人口対比
明治28年	1人	0.01%
明治40年	30	0.32
大正８年	56	0.59
昭和６年	110	1.16
昭和18年	111	1.17
昭和30年	139	1.46
昭和42年	82	0.86
昭和54年	145	1.53

戦後は農家の副業として、多いときは百万頭も飼育されていました。しかし、現在の飼育頭数は、北海道や東北などを中心に、三万七百頭ぐらいに過ぎません。

さて、「一年の計は元旦にあり」といいます。今年の目標を決め、〝迷える羊〟にならないよう、スタートを切りたいものです。

ところで、年おとこ、年おんなの人達が生まれた年の村の主な出来事をふりかえってみますと、次のようなものが挙げられます。

明治40年
○小杉尋常小学校増築
大正８年
○二回目外米廃売法を施行
昭和６年
○村の伝染病院を廃止し組合立亀田伝染病院と合併
昭和30年
○木津小学校改築
昭和42年
○伊藤威夫氏に名誉村民称号贈呈
昭和54年
○中学校南校舎改築

年頭のごあいさつ

横越村長　浅見良一

村民の皆さん明けましておめでとうございます。

新しい年を迎えなお一層のご健勝を心からお祈り申し上げます。

前年は、木津工業団地に新工場の建設ラッシュが続く一方、中学校グランドの竣工と目下建設中の勤労者体育館も三月には竣工し、スポーツ、地域活動等に大きく貢献できると期待しております。そのほか生活環境整備、福祉・健康づくり事業等もお陰様で順調に推移しております。また興奮未だ冷めやらずの横越大祭、観光遊歩道歩き初め等々、感激の場面が多くあった記念すべき年でもありました。

特に村初めての横越大祭は、多彩なイベントとそこに醸し出された住民こん然一体となって「燃えた活力」に驚くと同時に、多くの村民が一つの輪に融け込む「ほのぼのとしたふれあい」等、村柄の素晴らしさを肌に感じたものであります。改めて村民皆さんに敬意を表し感謝を捧げる次第であります。

さて世は正に激変の時代であります。洋の東西を問わずめまぐるしく変転しておりますが、我が横越村もおおかたの想像を上回って変りつゝありまして、交通体系はじめ産業基盤、生活環境等、構造的進展につながっておりますことは、九千六百人を数える人口増がその証しであろうかと思われます。

最近、「村から町に」という現実性が射程内に入った、との声が内外ともに聞かれる昨今でもありますが、問題は地域発展や住民の幸福は「町」という名にあるのではなく、その地域の歴史、文化が育む美しい豊かな風土、地域特性を生かした産業経済、若者が希望と誇りが持て、子供やお年寄りが安心して過ごせる環境と暮らし等、これらの充実に努力した結果が、町につながっていくものと信じております。

人口一万人。町の誕生は大きな果実に違いありませんが、要は、それにふさわしい立派な風格を備えることが肝心であると思います。

今年は、特に二十一世紀に向かって新しい村づくりの出発点と心掛け、一層清新な気持で諸課題に取り組む所存でありますが、特に新規重点施策としては、その第一は、県都新潟市が高速交通体系の中枢として或いは環日本海圏の国際都市として変貌発展する、その広域圏内に位置する我が横越村もこれらの動きに対応した将来展望が必要であり、今年度において「市街化線引」の見直しを図っていくものであります。

第二は、人口の増加と高齢化・余暇時代に即した潤い豊かな村づくりの一環である、「総合体育館を含むコミュニティセンター・スポーツ公園構想」に基づく公共用地確保であります。

第三は、兼ねての課題であった中学校体育館の改築と野球場の建設であります。

今年も村民皆さんの変わらぬご理解ご協力を切にお願い申し上げまして新年のごあいさつといたします。

12月定例議会

平成元年度一般会計決算・特別会計決算を認定

社会福祉基金条例を制定

十二月定例議会が、十二月十三日から二十一日までの会期九日間で開かれ、初日の本会議は一般質問で六名の議員が質問に立って村政について村長の考えをただしました。二日目も本会議が開かれ、専決処分の承認一件、規約の変更二件、人権擁護委員の推せん一件、基金条例の制定一件、平成元年度の一般会計決算や特別会計の決算認定七件、平成二年度一般会計など補正予算案四件が審議され、一般会計、特別会計決算については決算審査特別委員会に付託し、その他案件については、原案どおり可決されました。

付託された決算は、最終日の二十一日の本会議で認定されました。また、人事院の勧告に伴う特別職、一般職の給与、手当等の条例改正及び、関連の補正予算も可決されました。

おもな議案

■専決処分

○平成二年度一般会計補正予算（第五号）

参議院議員補欠選挙に伴う選挙費二五九万円を補正したもの。

■人権擁護委員の推せん

岩橋光御さん（川根谷内・64歳）が再び推せんされました。

■横越村社会福祉基金条例の制定

平成元年度地方財政補正措置として普通交付税で新たに交付された地域振興基金費を、社会福祉事業の振興を図るための資金として基金積み立てするもの。

■一般会計補正予算（第六号）

歳入総額に三、八八六万円を追加、八万円を減額し、歳出総額に四、四〇五万円を追加、五二七万円を減額して、歳入歳出予算の総額を二四億二、八六二万円としたもの。

補正の主なものでは、公共用地として土地開発基金からの買戻しで一、二三二万円。道路改良費で一〇〇万円。二本木地区コミュニティ助成事業補助で二〇〇万円。社会福祉基金の積立金で一、五〇〇万円。

■国民保険特別会計補正予算（第二号）

歳入総額に一五八万円を追加、一七万円を減額し、歳出総額に一九四万円を追加、五三万円を減額して歳入歳出予算の総額を五億三四五万円としたもの。

補正の主なものは、療養費の不足分で七〇万円。葬祭費の不足分八〇万円。

■水道事業会計補正予算（第一号）

収益的支出で二五万円の増額、資本的支出で七〇〇万円の増額補正で、内容は営業費用と配水管移設工事の増加による工事請負費の補正。

■下水道事業特別会計補正予算（第二号）

下水道管渠実施設計委託料の不用額一七〇万円を減額し、ガス管切替補償費及び水道配水管移設補償費の不足分七〇〇万円と管渠布設工事費八〇〇万円を追加して、予算総額を五億三、八〇〇万円とするもの。

■平成元年度一般会計決算の認定（詳細は広報八月号を参照）

■平成元年度国民健康保険特別会計決算の認定（以下各特別会計の詳細は広報九月、十月号を参照）

■平成元年度農業共済事業特別会計決算の認定

■平成元年度家畜診療所特別会計決算の認定

■平成元年度下水道特別会計決算の認定

■平成元年度老人保健特別会計決算の認定

■平成元年度工業団地造成事業特別会計決算の認定

■北方領土の早期返還に関する要望決議

北方領土返還の早期実現を期すための要望決議

送付先　内閣総理大臣他

東京03地域の市内局番はすべて四ケタに
NTT新潟事業所

NTTでは、平成三年一月一日㈫から東京二三区及び狛江市・三鷹市・調布市で市外局番03をご利用の地域の市内局番をすべて四ケタに変更させていただくことになりました。

東京03地域の三ケタ市内局番は、平成三年一月一日㈫午前二時からこれまでの市内局番の前に3をつけて、すべて四ケタの市内局番に変わります。

（例）03－△△△△－□□□□
⇦
03－3△△△－□□□□

※既に四ケタの市内局番をご利用のお客様につきましては、現在（03－5△△△－□□□□）のままで変わりありません。

電話機やファクシミリなどへ東京03地域の相手先電話番号を登録されているお客様は、お手数でも市内局番の前に3をつけた四ケタ市内局番への登録変更をお願いいたします。

テレックスをご利用の場合、テレックス番号はそのまま変わりません。

国際ボランティア貯金
一月から取扱開始！

郵政省では開発途上国の福祉の向上を目的として、おサイフ代りとしてご利用いただいている通常貯金の利子の二〇％を寄付していただき、民間海外援助団体（NGO）を通じてお役に立てようという国際ボランティア貯金の取扱いを一月四日から開始します。

（通常貯金の年平均残高を一〇万円とすると利息の二〇％は約五六〇円です。なお通常貯金の利率は年三・四八％と出し入れ自由の貯金としては高利率です）

ご賛同を得ていただいた寄付金は、開発途上国へ食糧支給、医師派遣、簡易トイレの設置、砂漠の植林、飲料水の井戸掘り等に有効に使用します。

当村でも十一月二十七日、横越地区推進協議会を設立して役員を決定、今後の活動を活発に展開していくことを申し合せました。村民皆さんのあたたかいご協力をお願い致します。

なお詳しいことは実際の事務を取り扱う小杉、木津、沢海、横越の各郵便局、或いは外務員等になんなりとお申し付け下さい。

国際ボランティア貯金
横越地区推進協議会役員
（敬称略）

会長　浅見良一（村長）
副会長　岩橋光御（社会福祉協議会長）
副会長　佐久間順（連合婦人会長）
事務局長　岡本昭人（横越郵便局長）
理事　野村一衛（商工会長）
理事　塚原宏（連合老人クラブ会長）
理事　佐藤豊次（区長代表）
理事　石山邦彦（沢海郵便局長）
理事　本間一人（横越郵便局主任）